

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| | | | | |
|----------------|----------------|---|--------------|-----|
| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
| 27-238 | 高等学校 | 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教 科 書 名 | | |
| 212 桐原 | コⅡ354 | WORLD TREK English Communication II New Edition | | |

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育目標を達成するため、題材は生徒の発達段階を考慮に入れつつ、個人の成長に資するだけでなく、個人と社会の相互補完的な関係について考える機会を設けるものを選定した。

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---|---|-----------|
| 図書全課 | 生徒の知的な興味・関心を強く喚起しながら、広範な知識と多様な物の見方を身に付けることに資する題材を選定し、さまざまな活動を用意した。(第1号) | 7～155 ページ |
| Lesson 1 What Happens in Your Country in April? [世界の国々の4月の様子] | 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、世界各地でさまざまな人々がさまざまに暮らしている現実について学ぶ題材や活動を用意した。(第5号) | 7～15 ページ |
| Lesson 2 Aquariums [水族館の魅力や展示の工夫] | 水族館における展示の工夫についての対話を通じて、職業や生活についての興味・関心を引き出し、勤労を重んずる態度を養うことに資する題材や活動を用意した。(第2号) 生物についての対話を通じて、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことに資する題材や活動を用意した。(第4号) | 19～29 ページ |
| Lesson 3 Dear Juliet [物語のヒロインに宛てて世界中から届く手紙] | 世界中から届く手紙に返事を書くジュリエット・クラブの活動を通して、自他の敬愛と協力を重んじる態度を育てることに資する題材や活動を用意した。(第3号) | 31～41 ページ |
| Lesson 4 Nebuta, the Soul of Aomori [ねぶた祭りの魅力と舞台裏で活躍する人々] | 青森のねぶた祭りの魅力や、ねぶた作りに関わる人々の思いを通じて、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心を育む題材や活動を用意した。(第5号) | 45～55 ページ |
| Reading: Transients in Arcadia [都会でバカンスを過ごした客たちの秘密] | O・ヘンリーの短編小説を通じて、個人の価値を尊重し、自主及び自立の精神を養うとともに、勤労を重んずる題材を選定した。(第2号) | 57～64 ページ |

| | | |
|---|--|--------------------|
| <p>Lesson 5 Changing Things, Changing Lives [廃材で作った楽器を演奏する若者たちのオーケストラ]</p> | <p>音楽を学ぶことで子どもたちが夢や希望を見いだす過程を通じて、個人の創造性を培い、自主及び自立の精神を養うことができる題材を用意した。(第2号) 廃材で作った楽器を演奏するオーケストラの活動を通じて、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことに資する題材や活動を用意した。(第4号)</p> | <p>65～75 ページ</p> |
| <p>Lesson 6 Racing toward Your Dreams [カーレーサー井原慶子さんの挑戦の軌跡]</p> | <p>男性が多いカーレースの世界で活躍し、チームメイトとのコミュニケーションを重視する井原さんの活動を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を重んじる態度を養うことに資する題材や活動を用意した。(第3号)</p> | <p>79～91 ページ</p> |
| <p>Lesson 7 The Origins of Halloween [ハロウィーンで目にするシンボルや習慣の起源]</p> | <p>日本にも定着しつつある海外の祭りの起源の紹介を通じて、他国の文化と歴史を尊重することに資する題材や活動を用意した。(第5号)</p> | <p>93～103 ページ</p> |
| <p>Lesson 8 Helping People through Robots [ロボット研究者の古田貴之さんの人生や夢]</p> | <p>ロボット開発を通じて社会に貢献している古田さんの取り組みを学ぶことで、個々の人間が公共の精神に基づき、主体的に社会の発展に寄与する態度を育てることに資する題材や活動を用意した。(第3号)</p> | <p>105～117 ページ</p> |
| <p>Diary The Diary of Anne Frank [アンネ・フランクの日記]</p> | <p>国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことに資する題材として、戦争の悲惨な状況下で自らの等身大の思いを綴ったアンネ・フランクの日記を選定した。(第5号)</p> | <p>121～126 ページ</p> |
| <p>Lesson 9 Snowflake Bentley [雪の結晶を撮影し続けたベントレーの伝記]</p> | <p>雪の結晶に魅せられて、結晶を撮影し続けたベントレーの生涯を通じて、自然の驚異を学び、環境の保全に寄与する態度を養うことに資する題材や活動を用意した。(第4号)</p> | <p>127～139 ページ</p> |
| <p>Lesson 10 Ukiyoe and the Impressionists [浮世絵がヨーロッパの人々に与えた影響]</p> | <p>浮世絵がヨーロッパの人々に与えた影響について学ぶことで、自国の伝統と文化とともに他国の文化を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養うことに資する題材や活動を用意した。(第5号)</p> | <p>141～153 ページ</p> |
| <p>3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色</p> | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 4つの領域の言語活動を総合的に行えるように、多様な言語活動を配置した。 ・ 生徒の学力を考慮して、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して学習できるように、内容を選定した。 | | |

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

| | | | | |
|----------------|----------------|---|--------------|-----|
| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
| 27・238 | 高等学校 | 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教 科 書 名 | | |
| 212 桐原 | コⅡ354 | WORLD TREK English Communication II New Edition | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ① 生徒の生きる力を育むことを目指し、基礎・基本的知識及び技能を習得させるとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うことを目標に編修した。
- ② 自他の生命や伝統と文化を尊重する精神と、主体的によりよい社会を実現しようとする態度を養うために、生物の営みについて考えさせる水族館の展示、ロボット研究者の社会貢献への取り組み、浮世絵がヨーロッパの絵画に与えた影響などの題材を収録した。
- ③ 言語や文化に対する理解を深めるために、語彙増強のページを設けた。また、さまざまな外国の文化を紹介する題材を採用した。
- ④ 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成のために、自分の考えを話したり書いたりする言語活動を充実させた。
- ⑤ 情報や考えを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養うために、生徒に身近な場面を設定し、「読む」「聞く」「書く」「話す」を総合的・有機的に関連させた活動を多く設けた。

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当 時数 |
|--|---|--|------------|
| I. 本課 (Lesson 1~10) | | | |
| 1. Get Ready 各課への導入をねらいとする問題。 | ●「2 内容」の(1)のウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 | 7, 19, 31, 45, 65, 79, 93, 105, 127, 141 ページ | 2×3 ×5, |
| 2. 本文 (1) 英文 | ●「2 内容」の(1)のイ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。 | 各課の本文のページ | 2×4 ×5 |
| (2) Get the Gist 本文の概要や要点を尋ねる設問。音声聞いてディクテーションを行い、その文 | ●「2 内容」の(1)のイ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。 ●「2 内容」の(2)のア | 各課の本文のページ | 1×3 |

| | | | |
|---|--|--|---------------------------|
| <p>の正誤判定を行う。</p> | <p>英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞く。</p> | | <p>×7, 1×4 ×3</p> |
| <p>(3) Grammar 各パートで学習する文法項目。英語表現において特に重要と思われる項目を中心に扱った。</p> <p>(4) Practice Grammarの文法項目の練習問題。 学習者が実際に日常生活で使える内容の文となるよう心がけた。</p> | <p>●第3款の2のイ【文構造のうち、運用度の高いもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語＋動詞＋目的語＋分詞 ・主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞 ・主語＋seem など＋to 不定詞 ・It＋seem など＋that で始まる節 <hr/> <p>●第3款の2のウ【文法事項】</p> <p>(ア) 不定詞の用法</p> <p>(イ) 関係代名詞の用法</p> <p>(ウ) 関係副詞の用法</p> <p>(エ) 助動詞の用法</p> <p>(オ) 代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの</p> <p>(カ) 動詞の時制など</p> <p>(キ) 仮定法</p> <p>(ク) 分詞構文</p> | <p>21, 25 ページ</p> <p>23 ページ</p> <p>49 ページ</p> <p>49 ページ</p> <hr/> <p>23, 35, 49, 87 ページ</p> <p>95, 97, 101 ページ</p> <p>99, 101 ページ</p> <p>47, 51 ページ</p> <p>35, 39, 83, 87 ページ</p> <p>67, 69, 73 ページ</p> <p>131, 133, 137 ページ</p> <p>107, 109, 111, 113 ページ</p> | |
| <p>(5) Reading Tips 英文を読む上でのこつを学ぶコーナー。</p> | <p>●「2 内容」の(2)のイ</p> <p>論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりする。</p> | <p>9, 21, 35, 47, 67, 81, 95, 107, 131, 143 ページ</p> | |
| <p>3. Story Review 各課の本文内容をチャートにまとめる活動。チャートを用いて本文のリテリング活動も行う。</p> | <p>●「2 内容」の(1)のイ</p> <p>説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。</p> <p>●「2 内容」の(1)のウ</p> <p>聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> | <p>14, 28, 40, 54, 74, 90, 102, 116, 138, 152 ページ</p> | <p>0.5× 10</p> |
| <p>4. Grammar Review 各課 Grammar で学習した文法の練習問題。</p> | <p>●第3款の2のイ【文構造のうち、運用度の高いもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語＋動詞＋目的語＋分詞 ・主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞 ・主語＋seem など＋to 不定詞 | <p>28 ページ</p> <p>29 ページ</p> <p>54 ページ</p> | <p>0.5× 10</p> |

| | | | |
|---|---|---|--------------------|
| | <p>・ It+seem など+that で始まる節</p> <p>54 ページ</p> <p>●第3款の2のウ【文法事項】</p> <p>(ア) 不定詞の用法 29, 40, 54, 91 ページ</p> <p>(イ) 関係代名詞の用法 102～103 ページ</p> <p>(ウ) 関係副詞の用法 102～103 ページ</p> <p>(エ) 助動詞の用法 54～55 ページ</p> <p>(オ) 代名詞のうち, it が名詞用法の句及び節を指すもの 40～41, 90～91 ページ</p> <p>(カ) 動詞の時制など 74～75 ページ</p> <p>(キ) 仮定法 138～139 ページ</p> <p>(ク) 分詞構文 116～117 ページ</p> <p>●第3款の3のイ</p> <p>文法については, コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ, 言語活動と効果的に関連付けて指導する。</p> <p>14～15, 28～29, 40～41, 54～55, 74～75, 90～91, 102～103, 116～117, 138～139, 152～153 ページ</p> | | |
| <p>5. Communication</p> <p>Task</p> <p>各課の話題に関する, 発信活動のコーナー。</p> <p>多くの課で, 「読む」「聞く」「書く」「話す」活動を有機的に関連付けながら行えるように作っている。</p> | <p>●「3 内容の取扱い」の(1)</p> <p>中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ, 聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら, 四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導する。</p> <p>●「3 内容の取扱い」の(2)</p> <p>生徒の実態に応じて, 多様な場面における言語活動を経験させながら, 中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮する。</p> <p>●「2 内容」の(1)のア</p> <p>事物に関する紹介や報告, 対話や討論などを聞いて, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。</p> <p>●「2 内容」の(1)のウ</p> <p>聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>●「2 内容」の(1)のエ</p> | <p>15, 29, 41, 55, 75, 91, 103, 117, 139, 153 ページ</p> <p>15, 29, 55, 75, 91, 103, 117, 139, 153 ページ</p> <p>15, 29, 55, 75, 91, 103, 117, 139, 153 ページ</p> <p>41, 55, 75, 103,</p> | <p>0.5× 10</p> |

| | | | |
|---|---|---|-----|
| | 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 | 117, 139 ページ | |
| | ●「2 内容」の(2)のエ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりする。 | 55, 103, 117, 139 ページ | |
| | ●第3款の1【言語の使用場面】 a. 特有の表現がよく使われる場面 b. 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 c. 多様な手段を通じて情報などを得る場面 | 29, 41, 75, 91 ページ 15, 29, 41, 55, 75, 117, 139, 153 ページ 55, 103, 117 ページ | |
| | ●第3款の1【言語の働き】 a. コミュニケーションを円滑にする b. 気持ちを伝える c. 情報を伝える d. 考えや意図を伝える e. 相手の行動を促す | 15, 41, 75, 91 ページ 41, 139 ページ 15, 29, 55, 103, 117, 153 ページ 75 ページ 29, 75, 91, 153 ページ | |
| Ⅱ. 本課以外のページ | | | |
| 1. Reading 読み物の課。 | ●「2 内容」の(1)のイ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。 | 57～64 ページ | 5 |
| 2. Diary 読み物の課。 | ●「2 内容」の(1)のイ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。 | 121～126 ページ | 4 |
| 3. English Grammar Adviser 文法の基本的な理解を養うため、既習文法を整理し、復習するページ。 | ●「3 内容の取扱い」の(2) 生徒の実態に応じて、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮する。 | 30, 56, 92, 104, 140 ページ | 1×5 |
| | ●第3款の2のウ【文法事項】 (ア) 不定詞の用法 | 104 ページ | |

| | | | |
|---|---|--|-------------------|
| <p>4. Vocabulary</p> <p>Builder</p> <p>語彙増強のページ。</p> <p>(1) 人物や事物の描写</p> <p>(2) 感覚や感情</p> <p>(3) 症状やけが</p> <p>(4) エネルギーや環境</p> <p>(5) 計算や計測, 図形</p> | <p>●第3款の1【言語の使用場面】</p> <p>b. 生徒の身近な暮らしや社会にかかわる場面</p> <hr/> <p>●第3款の1【言語の働き】</p> <p>c. 情報を伝える</p> | <p>16～17, 42～43, 76～77, 118～ 119, 154～155 ペ ージ</p> | <p>1×5</p> |
| <p>5. Listen & Try</p> <p>Vocabulary Builder で 習得した語彙を活かし て, 聞き取りや発信活 動を行うページ。</p> | <p>●「2 内容」の(1)のア</p> <p>事物に関する紹介や報告, 対話や討論などを聞 いて, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要 点をとらえたりする。</p> <p>●「2 内容」の(1)のウ</p> <p>聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験 したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>●「2 内容」の(2)のア</p> <p>英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意し ながら聞いたり話したりする。</p> <p>●「2 内容」の(2)のウ</p> <p>未知の語の意味を推測したり背景となる知識を 活用したりしながら聞く。</p> <p>●第3款の1【言語の使用場面】</p> <p>a. 特有の表現がよく使われる場面</p> <p>b. 生徒の身近な暮らしや社会にかかわる場面</p> <hr/> <p>●第3款の1【言語の働き】</p> <p>a. コミュニケーションを円滑にする</p> <p>b. 気持ちを伝える</p> <p>c. 情報を伝える</p> <p>d. 考えや意図を伝える</p> <p>e. 相手の行動を促す</p> | <p>18, 44, 78, 120 ペ ージ</p> | <p>0.5× 4</p> |
| <p>6. Classroom English</p> <p>英語での授業を円滑に 進めるための補助とな るフレーズ集。</p> | <p>●「1 目標」</p> <p>英語を通じて, 積極的にコミュニケーションを図 ろうとする態度を育成するとともに, 情報や考え などを的確に理解したり適切に伝えたりする能 力を伸ばす。</p> | <p>後見返し</p> | <p>1×1</p> |
| | | <p>計</p> | <p>140</p> |